



2026 年 9 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社エターナルホスピタリティグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 大 倉 忠 司
(コード番号：3193 東証プライム)
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 室 長 北 川 航
(TEL. 06-6206-0808)

中期経営計画の数値目標修正に関するお知らせ

当社は、2024 年 9 月 19 日に 2025 年 7 月期を初年度とする中期経営計画を公表し、推進してまいりました。本日「2026 年 7 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で 2027 年 7 月期の連結業績予想を公表したとおり、中期経営計画の最終年度にあたる 2027 年 7 月期の数値目標を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(百万円)

連 結	2027 年 7 月期 (当初目標)	2027 年 7 月期 (修正後)
売上高	60,000	57,231
うち海外売上高	6,000	2,075
営業利益	6,000	3,078
営業利益率	10%	5.4%
ROE	20%以上維持	15%以上

2. 修正の理由

当社グループは、日本が誇る焼鳥の文化・価値を世界に広めていくというビジョン「Global YAKITORI Family」を掲げ、これまでの約 2 年間、鳥貴族ブランドを中心に海外市場への進出を進めてまいりました。進出に際しては直営のみならず、優良な海外パートナーとの JV・フランチャイズ展開も推進し、2026 年 7 月末において海外 31 店舗体制となるに至りました。

しかしながら、現時点では本格展開できるような業態・店舗モデルの確立に時間を要しており、各地域で取り組みが続いている状況です。また、国内においてはお客様のご支持のもと既存店売上が堅調に推移した一方で、中計期間におけるインフレが想定を超えて推移し、新規出店や利益率向上が計画に至りませんでした。これらの結果、中期経営計画で定めた業績目標・店舗数目標を達成することが難しいと判断し、数値目標を下方修正することといたしました。

最終年度におきましては、各国・各地域における PMF・検証フェーズを継続することとし、個別戦略を見直してまいります。「焼鳥屋で世の中を明るくしていく」という理念のもと海外市場における成長基盤の確立、ひいては企業価値向上に引き続き取り組んでまいります。

以 上